

2024 富総 Press 冬号 (2025年1月)

明けましておめでとうございます。富岡総合公園にも冬が来ました。花が少ないこの時期でも、よく見れば面白いものが見つかるかもしれません。バードウォッチングにも適した時期です。是非お散歩など楽しんでください。

富岡総合公園の冬の見どころ

ツバキ▶

花のないこの時期にツバキの花はとても目立ちます。冬に花を咲かせるのは、受粉を手伝う鳥たちが、食料である虫が少ないこの時期に、求蜜に訪れてくれる可能性が高いからという戦略があるそうです。よくよく花を見ると、下の方の花弁に爪痕が残っていることがあります。メジロ等の小鳥がツバキの花の下の方にとまって蜜を吸った痕跡になります。白いツバキの方はサクラ並木の近くで見られます。赤いカンツバキはサイクリングロード沿いや、並木の草地広場の周辺で見ることができます。よかったらお散歩の時に、鳥が止まった跡を探してみてください！



◀ヤツデ

園内各所で見られる低木です。ヤツデは、切れ込みのある大きな葉が特徴です。みかけたら、是非葉っぱの切れ込みを数えてみてください。名前に「八つ」が付きますが、8つに切れ込んだ葉をもつ個体をこれまで見たことがありません👉ヤツデの花は地味ですが、あまり花のない時期に咲き、また、たっぴり蜜をつけていることから多くの昆虫が訪れます。両性花とされていますが、同じ花で受粉することを避けるため、雄花が先に成熟し、雌花が後に続く“雌雄異熟”という面白いしくみを持っています。



ヤドリギ▶

落葉樹が葉を落とした今の時期、半寄生植物のヤドリギがとても目立ちます。これは道路から北台展望台方面を見上げた時に見られるケヤキに寄生しているヤドリギです。晩冬から春にやってくるヒレンジャクが、ヤドリギの実が大好きで、木にとまっている間に堅い種子を含んだ糞をすることから、こんな高い所で発芽して成長します。



◀こも巻をしたマツ

藁(わら)で編んだ腹巻のようなものを、冬の間、マツの幹に巻きつける「こも巻き」。マツを食べる毛虫「マツケムシ」の防除法のために古くから伝わる庭園管理の技法です。防除の効果については、今ではあまり効果がないとされていますが、これを見ると「冬だなあ」と感じさせてくれる「風物詩」として残していけたら素敵だなと思います。ポタンの近くで見られます。



これからのイベント情報

■公園ウォーキングツアー：富岡の旧海岸線を歩く

1月26日(日)の10時00から、富岡総合公園管理センターを起点に「横浜金澤シティガイド協会」にご協力いただき、以下のコースを90分程度歩きます(参加費¥500)。

公園管理センター→ケヤキ広場(芋大明神)→北台広場→サクラ並木(隊門)→浜空神社跡地→三条実美宅跡地→機動隊→長昌寺(芋観音御開帳)

※申込は1月11日(土曜)から、お電話で受け付けます。奮ってご参加下さい。

■富岡総合公園でネイチャーゲーム

3月22日(土)の10時00から、「神奈川県シェアリングネイチャー協会」にご協力いただき、五感をつかって、自然を好きになってもらうことを目的にした“ネイチャーゲーム”を開催します(参加費¥200)。

詳細は、もう少し日が近くなってからウェブサイトや、広報誌などでお伝えします。

※こちらも申込は3月11日(火曜)から、お電話で受け付けます。ご検討参加下さい。

今年も富岡総合公園を宜しく願っています！